

# 第113回プラスワン例会報告

吉田智紀  
YOSHIDA TOMOKI  
技術士(機械)



## 1. 概要

令和5年度の出前授業もそろそろ募集をかけるころとなった8月下旬、高松市内にて一般例会を実施した。

参加人数は子供含めて18名、懇親会15名と通常規模での開催であった。

表-1 プログラム

<b>実施日：令和5年8月26日</b>
<b>場所：場所：J.A.M Factory 高松市東植田町</b>
<b>1. 講演会(14:00~15:00)</b> 『ゼロからのロケットエンジン開発 ~今、できることからの地道な挑戦~』 Sanuki Astro Project 技術部 山本誠一郎氏
<b>2. 施設見学(15:00~15:30)</b> 試験中の機器見学
<b>3. 参加者〇分間スピーチ(15:30~16:00)</b> 参加者の近況報告・PR など
<b>4. 懇親会(18:00~20:00)</b> 高松市内



写真-2 テスト機見学

## 2. 講師・会場について

今回は筆者が偶然夕方のローカルニュースを見て、香川県内でロケットを開発しているというアマチュアのかたを知り、アポイントを取ったもの



写真-1 講演会

である。お願いに行ったところ、活動拠点が高松市東植田町にあるシェアオフィス風のところで、貸しホールもあったのでそこでプラスワンの例会を行うことにした。

## 2. 講演会・施設見学

まず山本氏に開発に至った経緯を話してもらった。山本氏はパソコン関連の会社を運営しているが、ロケットについては全くの素人で子供のころからの宇宙へのあこがれは、ずっと持ちつづけていた。当初、東京のアマチュアグループで活動していたが、コロナ等の事情で拠点を香川に移し、メンバーを新規にあつめ活動を始めたようである。

ロケットエンジンはテレビで見るようなものと異なり、初心者でも取り組みやすいシステムを採用している。液体窒素と熱湯を急速に混合して噴射するもので燃焼を伴わない。燃焼がないので比較的扱いやすく、アマチュアで取り組むのに向いているシステムではある。試験機はメンバーの手持ちのスキルをあつめたレベルで、大丈夫かなと思うところもあったが、実験映像を見ると凄い迫力はあった。残念ながら、今回実験は行わなかった。

ただ、技術士目線では改良の余地もあると思われる方もいた。



写真-3 J.A.M.FACTORY で記念撮影

### 3. 懇親会

懇親会は場所を変え、いつもの通り瓦町の居酒屋で実施した。講師を交えロケット談議に花を咲かせる会員も多かった。

また参加者に誕生日の方がいてお店より焼酎のボトルがプレゼントされたので、寄せ書きして講師へのお礼とした。

### 4. おわりに

今回、会場が遠く移動の段取りは面倒かけたと思われるが、やはり現物を見たときの参加者の表情は本物の技術者であり、幹事としては現地でやって良かったと実感した。また、機会があれば会議室を飛び出した例会を実施したい。



写真-4 懇親会

最後に今回お世話になったさぬきアストロプロジェクトおよび J.A.M.FACTORY の宣伝を少々。さぬきアストロプロジェクトではメンバーを募集しています。技術士としてのスキルが役に立つかもしれませんが、立たなくても OK らしいです。

J.A.M.FACTORY のシェアオフィスも業務・講習会・各種イベントに利用可能です。興味のある方は下の QR コードからアクセスしてみてください。



さぬきアストロプロジェクトと J.A.M.FACTORY